

第1回定例会のあらまし

平成20年第1回定例会が、2月25日から3月19日までの24日間の日程で開かれました。この定例会では、平成20年度予算など市長提出議案70件、議員提出議案8件(意見書6件)を審議し、討論(賛成)公明党千葉市議会議員団、新政ちば、自由民主党千葉市議会議員団、反対)民主党千葉市議会議員団、日本共産党千葉市議会議員団、市民ネットワーク)が行われ、平成20年度一般会計予算など22件については、賛成多数により、千葉市ペット霊園の設置の許可等に関する条例の制定など54件については、全会一致により、原案どおり可決・同意しました。

一方、千葉市高齢者孤独死対策会議設置条例の制定については、賛成少数により、否決しました。なお、市民ゴルフ場の指定管理者の議案は撤回されました。また、平成20年度一般会計予算などの組み替えを求める動議および市民参加及び協働に関する条例の制定について、2件の修正動議が提出されましたが、賛成少数により、否決しました。

さらに、会派を代表して6人の議員が代表質疑を、17人の議員が一般質問を行いました。平成20年度予算については、全議員で構成する予算審査特別委員会を設置し、審査しました。また、市と区の選挙管理委員および同補充員の選挙を行いました。



ちばしフィルムコミッションの誘致による映画の撮影風景

新年度予算 総額6,895億7,900万円を可決

可決した主な議案

《予算》

*平成20年度各会計予算

平成20年度予算は、財政健全化へ向け、徹底した行財政改革を推進するとともに市債発行や基金からの借り入れを大幅に縮減します。また、第2次5か年計画については、大幅に見直しを行った上で市民福祉の向上と地域の均衡ある発展を目指し、緊急性・有効性などから事業を厳選し推進を図ります。市民視点、納税者視点に立ち、限られた財源を重点的・効率的に配分した結果、前年度と比較して7・1%減の総額六千八百九十五億七千九百万円となりました。

このうち、一般会計は前年度と比較して10・1%減の三千二百十三億円に、特別会計(企業会計を含む)は4・4%減の三千六百八十二億七千九百万円となりました。

*平成19年度補正予算

国庫補助金の決定に伴い、美浜打瀬小学校の校舎などの取得費や民間保育園施設整備助成など、一般会計に五十億二千二百万円を追加しました。

退職被保険者等療養給付費を追加するため国民健康保険事業特別会計に十九億六千七百万円など4事業会計に、合わせて七十億六千六百万円を追加しました。

《条例》

*千葉市ペット霊園の設置の許可等に関する条例の制定

ペット霊園が無秩序に乱立することによる周辺環境への悪影響などを防止するため、設置許可の基準、事前協議の実施や近隣住民への説明会の開催などを定めました。

*千葉市市民参加及び協働に関する条例の制定

市民参加と協働の基本理念、市の責任や市民の役割、市民参加の手続など基本的な事項を定め、市民参加と協働の取り組みを推進します。

*千葉市行政手続等における情報通信の技術の利用に関する条例の制定

書面により手続を行っていた指定自転車駐留場の利用申請や下水道使用開始の届出などが、自宅などのパソコンから、オンラインで行えるようになります。

*千葉市コミュニティセンター設置管理条例の一部改正

中央コミュニティセンターの健康づくりのフロアで実施する健康度測定に、メタボリックコースと女性健康コースを新設し、簡易コースは廃止しました。また、標準、総合コースの料金を改定しました。

*千葉市後期高齢者医療に関する条例の制定

後期高齢者医療制度の創設に伴い、保険料の徴収や所得の申告書の受付など、市が行う事務などを定めました。

*千葉市市営住宅等設置管理条例の一部改正

市営住宅の入居資格要件に、市町村民税の滞納者でないことや、暴力団員でないことを加えました。

《権利の放棄》

住宅供給公社の厳しい経営状況では、貸付金の回収が見込めないこと。また、同公社が行う特定優良賃貸住宅事業の継続と入居者の居住の安定のため、二十億三千万円の無利子貸付金の請求権を放棄します。